

テツカエデ

Acer nipponicum Hara

Order Sapindales, Family Sapindaceae, Subfamily Hippocastanoideae

日本で最も大きな葉をもつカエデである。葉の表面が縮緬状。葉裏の基部の毛の生えぐあいが異なるものがある。葉が厚く木の下が薄暗くなる。花は一つの花序に雄花、両性花が混じるものと雌雄異株もある。基本形はvar. *australe*とされている。鉢植えをする場合、皿で受けて水を張っておくとよい。相当の水分を与えないと成長が遅くなる。

Distribution range: Japan (Honsyu, Shikoku, Kyusyu)

Genus *Acer* The essential 1000 genera certification C Level

カエデ属：イロハモミジ、イタヤカエデ



Chiba University Graduate School of
Horticulture 2025-01-15

Name ID: 8815

